

課題整理総括表(参考資料)

利用者名 様		「自立した日常生活の阻害要因」 情報の収集・分析が終わった後に、ICFで整理する中で、「支障が起きているところ」「その要因」でまとめられた要因をかき出す。			備考(状況・支援内容等)		
自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)	① ④						
状況	② ③	「状態の事実」の「現在」 利用者宅の訪問、面談したり、関係者から申し送りで把握した情報(事実)に基づき、それぞれ日常的にしているかどうかを判断して記入。ICFで整理	要因	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
移動	自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
食事	食事内容 食事摂取 調理	支障なし 支障あり	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
排泄	排尿・排便 排泄動作	支障なし 支障あり	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
口腔	口腔衛生 口腔ケア	支障なし 自立	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
服薬	自立	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
入浴	自立	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
更衣	自立	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
掃除	自立	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
洗濯	自立 見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
整理・物品の管理	自立 見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
金銭管理	自立 見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
買物	自立 見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
コミュニケーション能力	支障なし 支障あり	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
認知	支障なし 支障あり	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
社会との関わり	支障なし 支障あり	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
褥瘡・皮膚の問題	支障なし 支障あり	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
行動・心理症状(BPSD)	支障なし 支障あり	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
介護力(家族関係含む)	支障なし 支障あり	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化
居住環境	支障なし 支障あり	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化	改善 維持 悪化

*1 本表は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。

*2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。

*3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。

*4 今回の認定有効期間における状況の改善・維持・悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

作成日	
利用者及び家族の 生活に対する意向	
見通し※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】※6
「見通し」 ①この状態が続いた場合、どのような状況が予測できるか、どんなリスクがあるのか。 ②一方で状況を改善するための促進要因(強味、モチベーションが上がること等)は何か 専門職の意見も取り入れながらまとめる	課題の優先順位を踏まえて記入。 利用者とすりあわせた結果、当該プランには反映しない(できない)課題は「一」印を記入する
「生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)」 「見通し」欄を踏まえて記入。 「利用者の望む生活」が捉えられていることが前提。 専門職の意見も取り入れながら整理して記入し、①と②から望む生活にするために、解決すべき課題は何かを上げる。(2つか3つ) そして、何から解決すると効果的か、優先順位を書く。 サービス担当者会議前に作成することから、介護支援専門員が情報収集・分析を踏まえて、専門職として提案する合意前の案であっても差し支えない。	

*5 「要因」および「改善・維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。

*6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「一」印を記入。